

# イー・アクセス株式会社 【9427】

---

2007年3月期 決算説明資料  
(2006年4月 ~ 2006年6月)



2006年8月9日

I. 2007年3月期第1四半期決算の総括

3 ページ

II. 事業の状況

6 ページ

III. 決算の状況

20 ページ

I. 2007年3月期第1四半期決算の総括

3 ページ

II. 事業の状況

6 ページ

III. 決算の状況

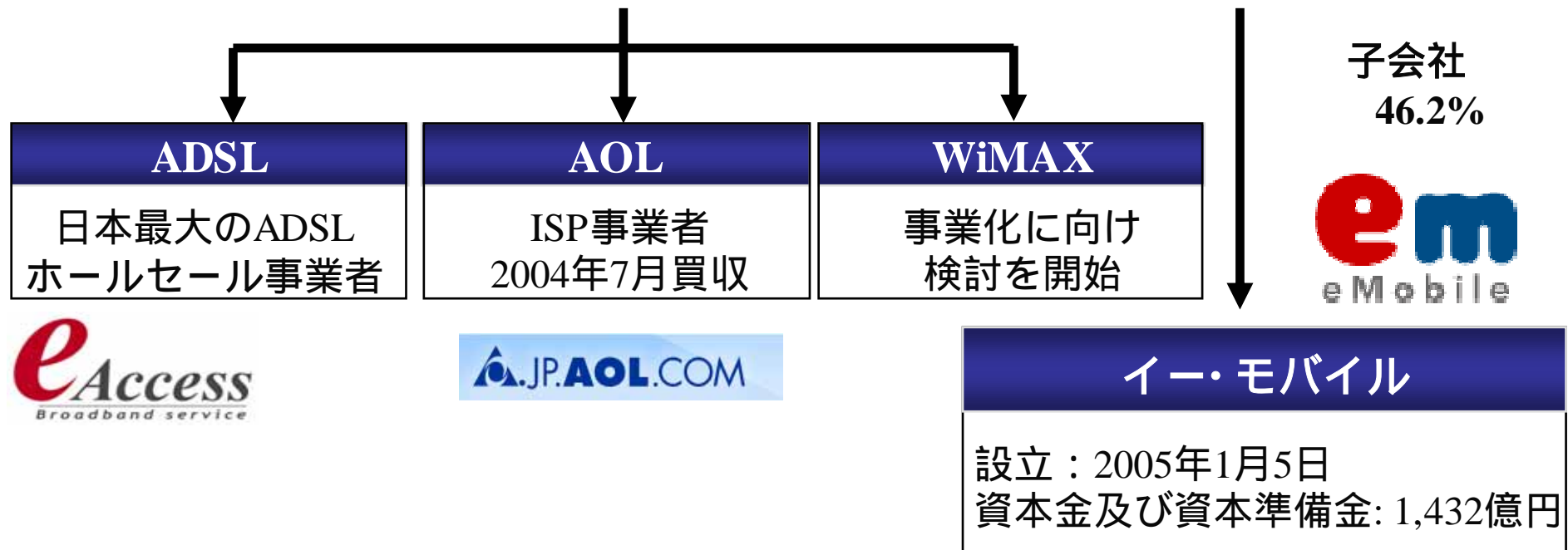
20 ページ

## イー・アクセス株式会社

設立：1999年11月1日

資本金及び資本準備金：215億円

従業員数：約600名\*



\*イー・モバイル従業員を含む

(2006年8月現在)

## 2007年3月期第1四半期決算ハイライト

ADSL・ISP事業	ADSL契約数は1Qで12,000回線純増 6月末の累計契約数は193万回線
	ADSL・ISP事業の売上及び利益等の主な諸元は 業績予想通り順調に進捗
モバイル事業	モバイル事業の必要資金をカバーする3,632億円の 資金調達を完了
	第1フェーズのデータサービスエリアのセル設計を完了し、 東名阪エリアにおいてネットワーク構築を開始
財務	単体の営業利益率は22.8%で前年同期比+63.8%の増益
	モバイル事業立上げ費用が発生したものの、 連結の営業利益率は15.1%を達成
株主還元	四半期配当を中間期末（1株あたり900円）から実施 年間配当金予想は1株あたり1,800円

I. 2007年3月期第1四半期決算の総括

3 ページ

II. 事業の状況

6 ページ

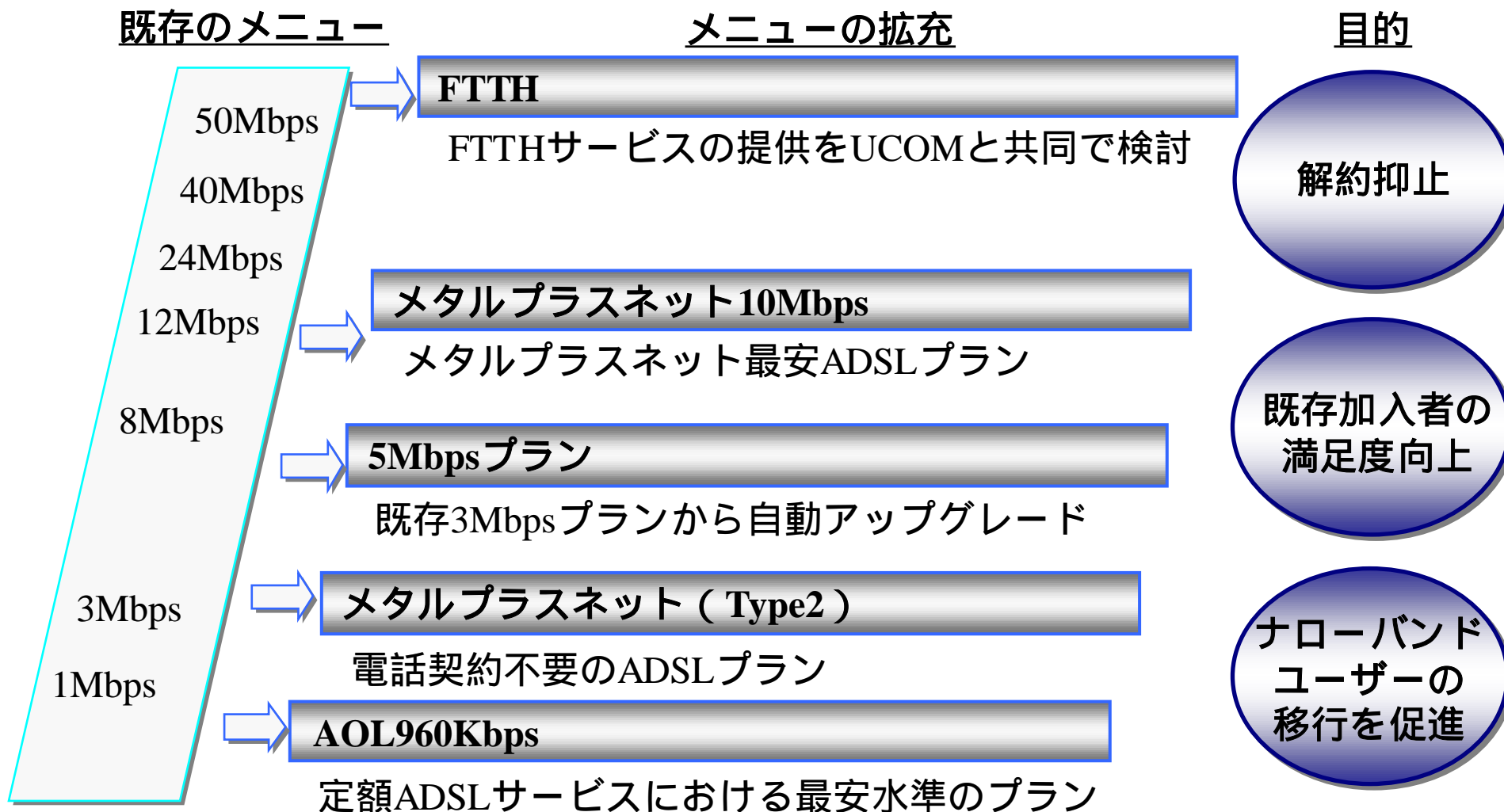
III. 決算の状況

20 ページ

# ADSL・ISP事業

# ADSLメニューの拡充

ユーザーのニーズに合ったサービスを提供し、獲得促進及び解約抑止を図る





## 解約率の状況

季節要因で4月に一時的に解約率が上昇したが、既存サービスの拡充及び解約抑止策を実施し、契約数の純増を達成

➤ 季節要因により解約率が2005年度第4四半期より上昇したが、月次解約率は4月のピーク時から徐々に改善

・ 4月: 2.49%    5月: 1.98%    6月: 1.77%

・ 4～6月平均 : 2.08%

### 【施策】

ISPと連携し、以下の解約抑止策を実施

- ・ 3M    5Mの自動アップグレード
- ・ 移転手数料無料
- ・ 回線変更手数料無料
- ・ 長期ユーザー割引
- ・ 無料宅内工事サポート

# ISP事業 (AOL)への取組み

アクセスメニューの拡充のほか、コンテンツの充実化にも着手  
ページビューの向上を目指す

## コンテンツ

- AOLダイアリーの機能向上や、エンターテイメントセクションの音楽や映画コンテンツ量を増加



**AOL Entertainment**  
Find music, movies, and your own style

## アクセスメニューの拡充

- 7月より新メニュー提供開始  
5Mbpsプラン：3,024円/月(IP電話対応)  
既存1Mbpsユーザーは無料アップグレード可。  
960Kbpsプラン：1,995円/月  
定額ADSLサービスにおける最安水準の料金プラン
- 商品ラインナップの充実により解約抑止、新規獲得及び既存加入者のブロードバンド化に取り組む



## WiMAXへの取組み

### WiMAX事業免許取得に向け、着実に準備を進める

2005年12月：WiMAX推進室を設立

2006年4月：モバイルWiMAXの屋外実証実験に向けた実験用無線免許を  
総務省へ申請

2006年7月：モバイルWiMAXの実験用無線局免許を取得し、屋外実証実験を開始

#### 【実験の詳細】

周波数帯：2.5GHz

実験期間：1年間

実験場所：東京23区内に順次3局設置

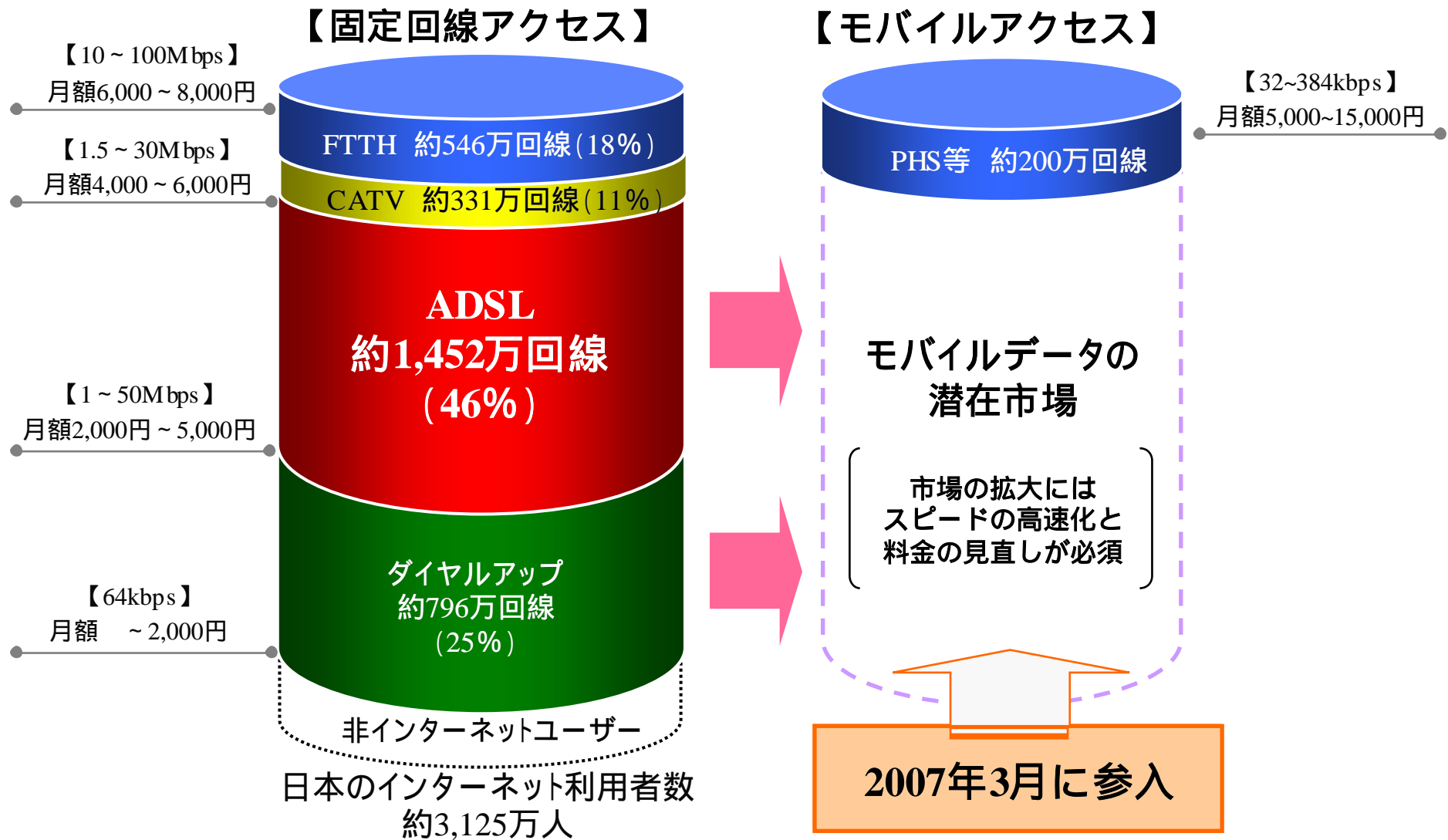
実験内容：セル設計手法や設備投資効率に関する  
情報を収集

東京23区内での実験は当社が初の事業者



# モバイル事業

# 固定及びモバイルのデータアクセス市場

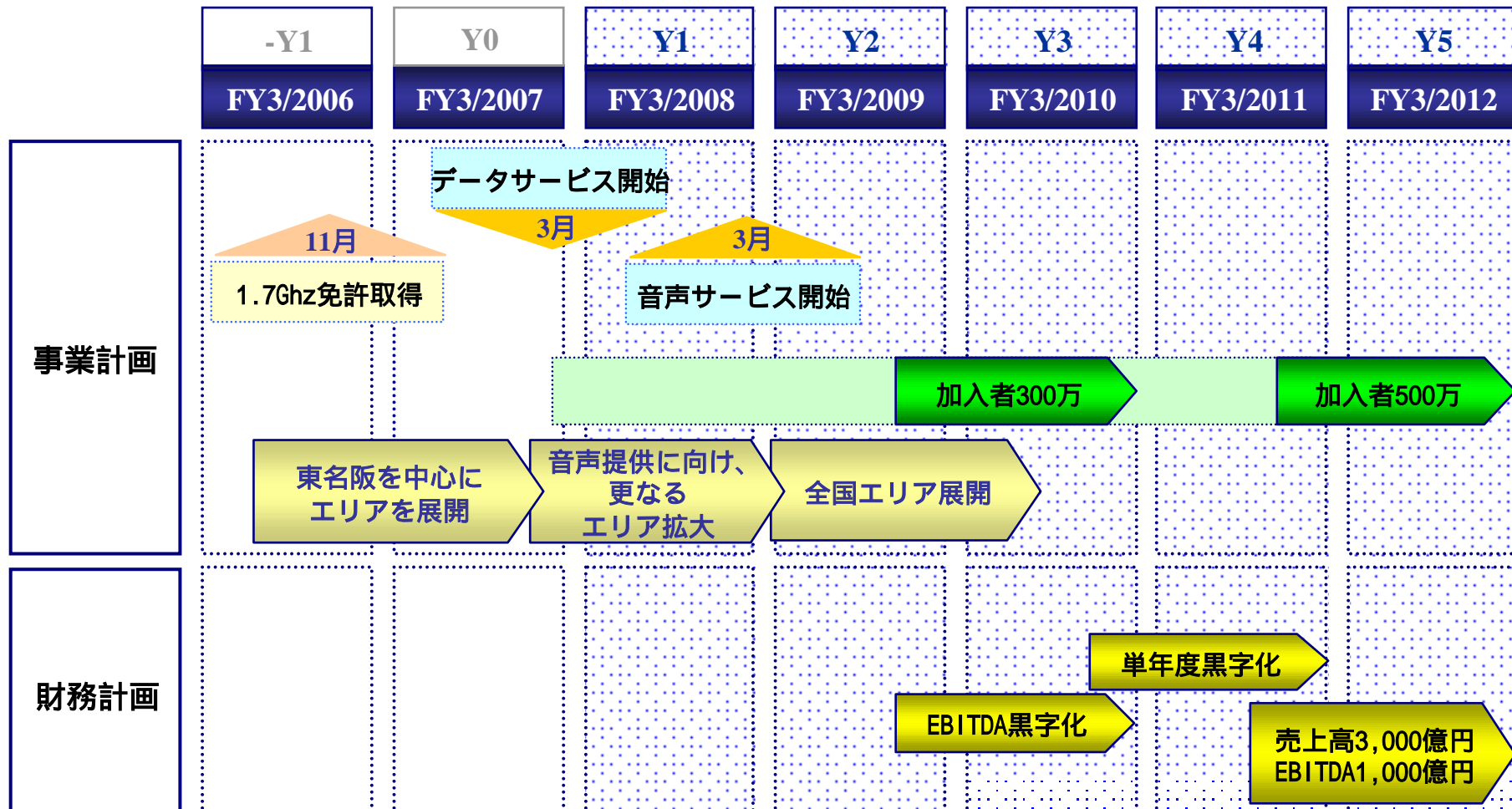


出所：総務省  
(2006年3月末時点)

- 1 スピードおよび月額料金は大手ISP5社の価格を基に算出したもの。
- 2 月額料金はモデムレンタル料金等を含んだ戸建タイプのサービス料金。

# 事業展開スケジュール（予定）

資金調達を予定通り完了し、2007年3月のデータサービス開始に向けネットワークを構築



# 資金調達ストラクチャー

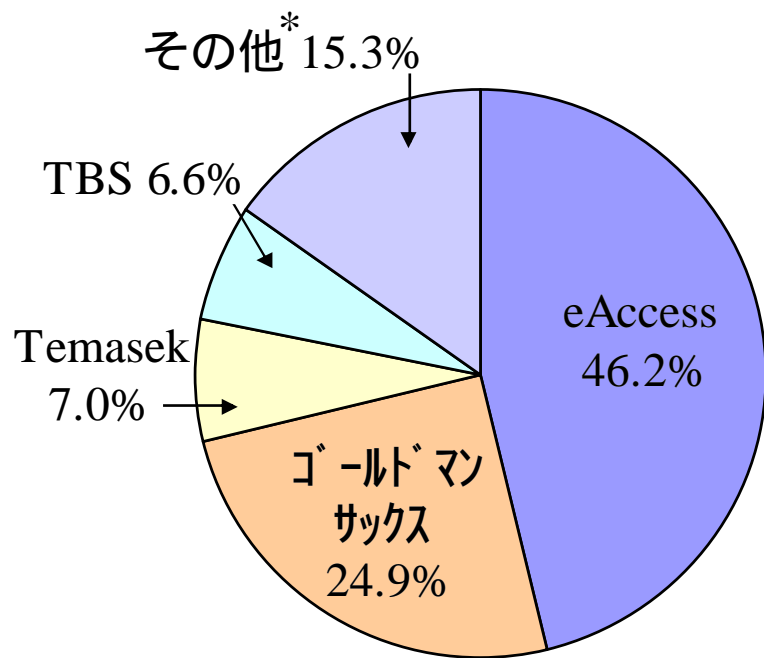
モバイル事業の設備投資、運転資金に必要な3,632億円の事業資金を確保

エクイティ資金調達 1,432億円

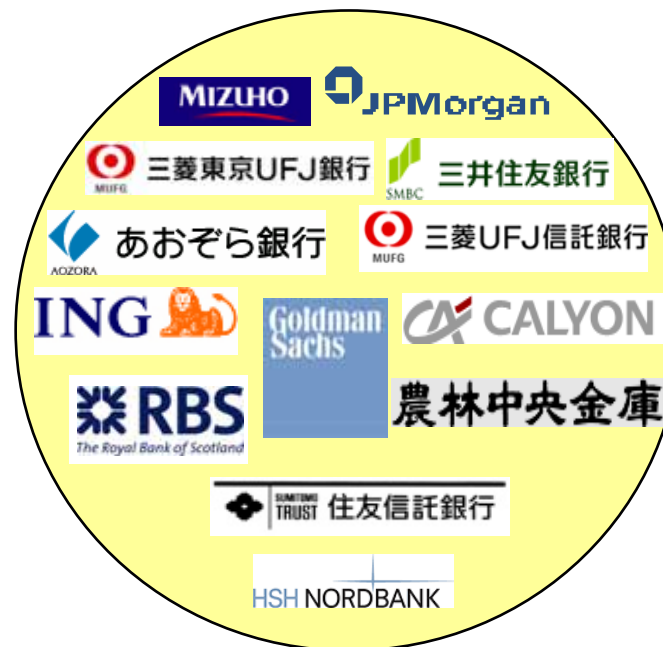
+

デット資金調達 2,200億円

=3,632億円



銀行借入枠 : 計13行



\* Woodperker Group、New World TMT、三井物産、ヨドバシカメラ、ビックカメラ、コジマ、吉本興業（セブシティ外）等

# イー・モバイル新取締役体制

代表取締役会長兼CEO  
千本倅生

イー・アクセス(株)  
代表取締役会長兼CEO

代表取締役社長兼COO  
種野晴夫

イー・アクセス(株)  
取締役

代表取締役副社長兼CFO  
エリック・ガン

イー・アクセス(株)  
代表取締役副社長兼CFO

取締役  
安井敏雄

イー・アクセス(株)  
代表取締役社長兼COO

社外取締役  
行天豊雄

現 国際通貨研究所理事長  
元 大蔵省財務官

社外取締役  
降旗健人

元 IDC(株)社長  
元 伊藤忠商事(株)副社長

社外取締役  
ピーター・カーウィ

現 加フォルニア大学サンディエゴ校  
国際関係・太平洋研究大学院  
学長

執行役員副社長  
村上保代

元 大明(株)取締役

執行役員副社長  
鈴木眞一

元 KVHテレコム(株)副社長兼CTO  
元 日商テクノシステム(株)  
代表取締役社長



# ネットワーク構築のプロセス



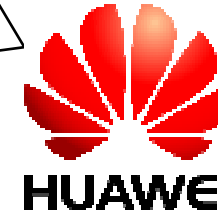
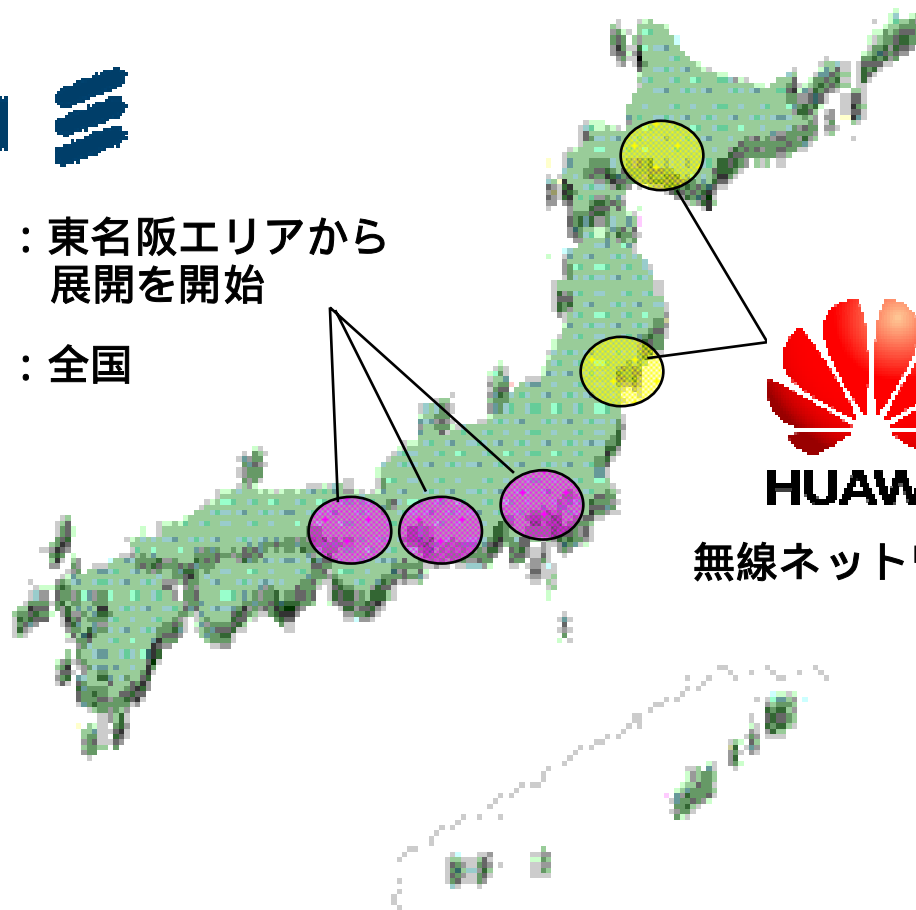
# ネットワーク構築

Ericssonのほか、Huaweiをサプライヤーに追加し、3.5G (HSDPA)  
ネットワーク構築を全国ベースで強力に推進する体制が整う



無線ネットワーク：東名阪エリアから  
展開を開始

コアネットワーク：全国



無線ネットワーク：仙台、札幌エリア  
から展開を開始

強力な技術開発力で次世代移動体通信システムをリード、最先端テクノロジーを誇る国際的な総合通信機メーカー **Huawei Technologies**社を、第2のサプライヤーに採用

### Huawei社の紹介

- 本社所在地：中国広東省深圳市  
2005年売上額：82億ドル（約9,400億円）  
従業員数：約4万人
- WCDMAを中心に世界の主要な世界の携帯電話事業者50社のうち28社にネットワークを提供。世界で10億人以上のユーザーに利用されている移動通信システムサプライヤー。
- 社員の約半数が研究開発に従事。バンガロールやシリコンバレーなど世界各地にR&Dセンターを所有。



I. 2007年3月期第1四半期決算の総括 3 ページ

II. 事業の状況 6 ページ

III. 決算の状況 20 ページ

# 2007年3月期第1四半期実績

単体のEBITDAマージン39.8%、営業利益率22.8%を達成  
 モバイル事業の立上費用をADSL・ISP事業の利益が吸収し、連結は15.1%の営業利益率を達成

	2006年3月期	2007年3月期	前年同期比	2007年3月期		
	第1四半期 (2005/4-6)	第1四半期 (2006/4-6)		第1四半期 (2006/4-6)		
	非連結	単体		増減%	ADSL・ISP	+ モバイル
(単位：億円)						
売上高	152.2	142.9	6.1 %	142.9	-	142.9
営業利益	19.9	32.6	+63.8 %	32.6	11.0	21.6
経常利益	15.8	29.3	+85.4 %	29.3	16.1	13.2
当期純利益	9.3	17.5	+88.2 %	17.5	16.2	9.7
EBITDA	48.7	57.0	+17.0 %	57.0	10.9	46.0
設備投資額	17.5	14.6	16.6 %	14.6	4.7	19.3
減価償却費	28.9	24.3	15.9 %	24.3	0.1	24.4

\* 当期利益に少数株主損失8.3億円の控除を含む。

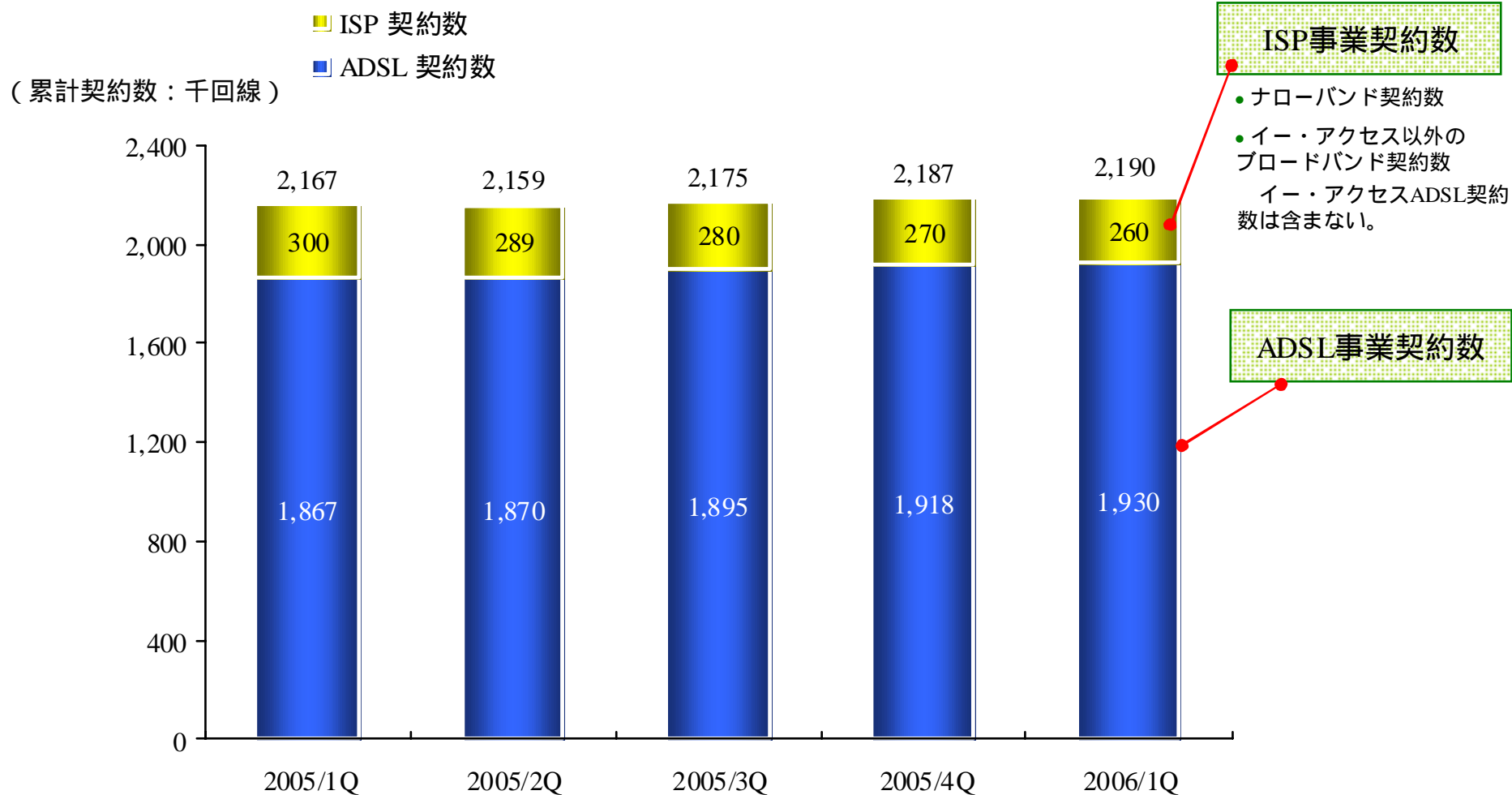
# 通期予想に対する進捗率

ADSL・ISP事業は通期予想に対し順調に進捗  
モバイル費用及び設備投資の大半は下期に発生予定

(単位：億円)	単体			連結		
	1Q	通期予想	進捗率	1Q	通期予想	進捗率
売上高	142.9	560.0	25.5 %	142.9	560.0	25.5%
営業利益	32.6	109.0	29.9 %	21.6	32.0	NA
経常利益	29.3	97.0	30.2 %	13.2	63.0	NA
当期純利益	17.5	54.0	32.4 %	9.7	13.0	NA
EBITDA	57.0	205.0	27.8 %	46.0	69.0	66.7 %
設備投資額	14.6	130.0	11.2 %	19.3	937.0	2.1 %
減価償却費	24.3	96.0	25.3 %	24.4	101.0	24.2 %

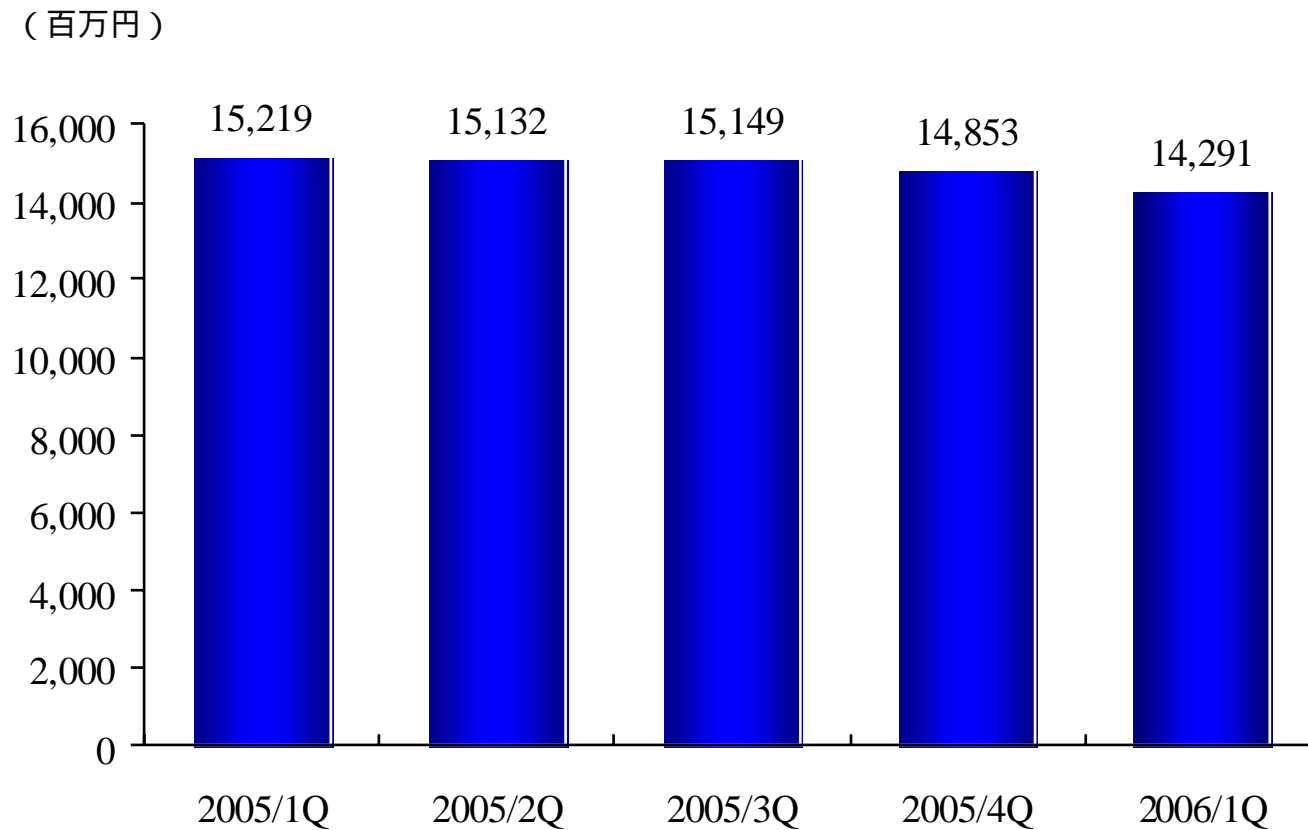
# 契約数の推移

メタルプラスとのセット販売や低速ユーザーの獲得により、引続き契約数は増加



## 売上高の推移

低ARPU契約が増加し、ARPU及び売上高は業績予想通りの進捗

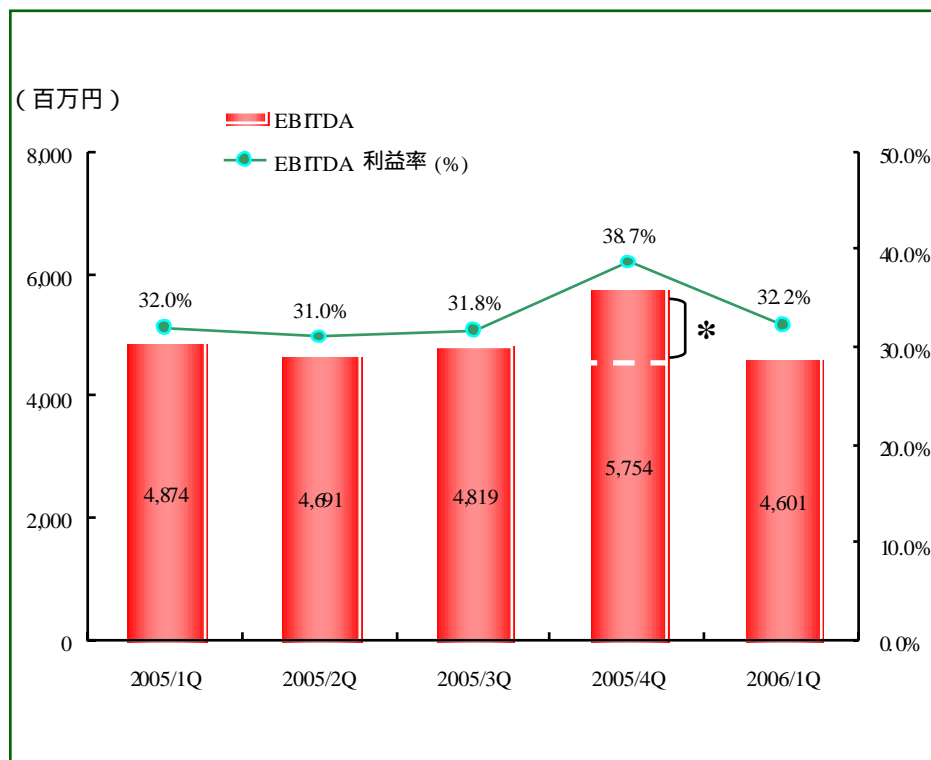




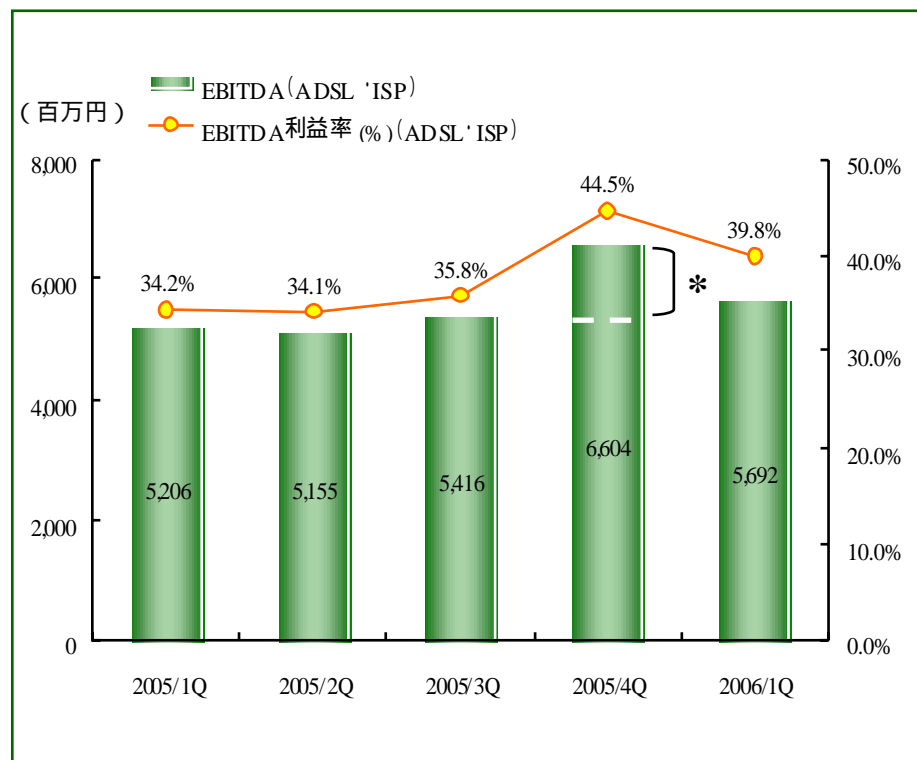
# EBITDAの推移

ADSL・ISP事業におけるEBITDA利益率は39.8%、コスト体質の継続的な改善に取り組んでいる結果、前年同期比5.6%ポイント上昇

EBITDA及びEBITDA利益率の推移  
(連結)



EBITDA及びEBITDA利益率の推移  
(ADSL・ISP事業)

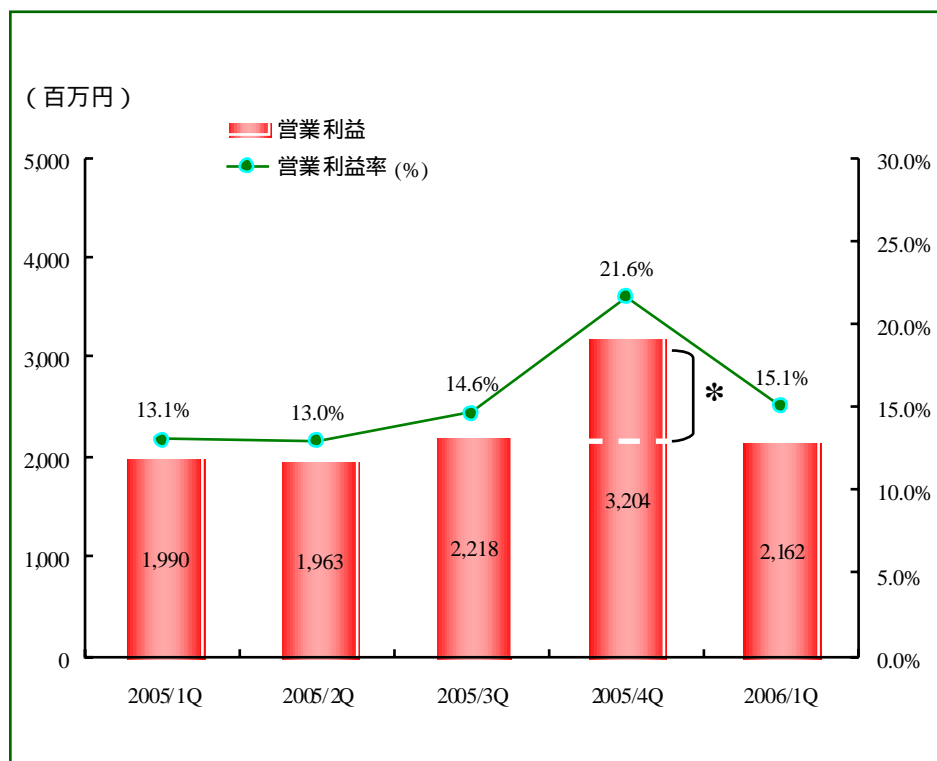


\* 2005/4QはNTT関連費用、接続料金の見直しによる遡及精算（一時的な利益計上）の影響約10億円を含む。

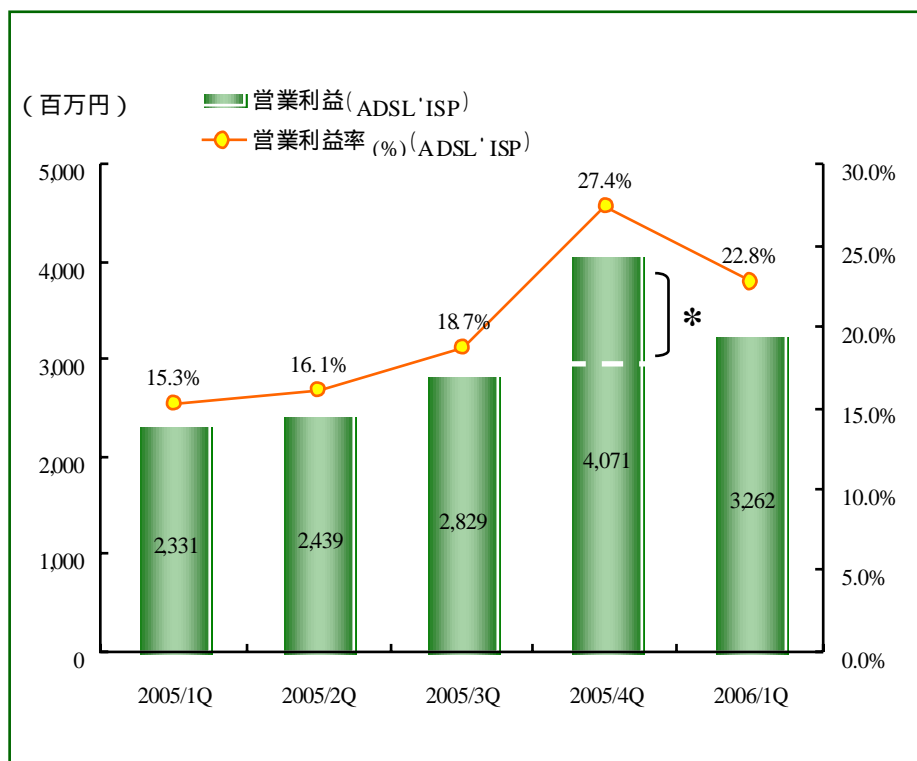
# 営業利益の推移

ADSL・ISP事業における営業利益率は営業費用や減価償却費の減少傾向等から、前年同期比7.5%ポイント上昇

営業利益及び営業利益率の推移  
(連結)



営業利益及び営業利益率の推移  
(ADSL・ISP事業)

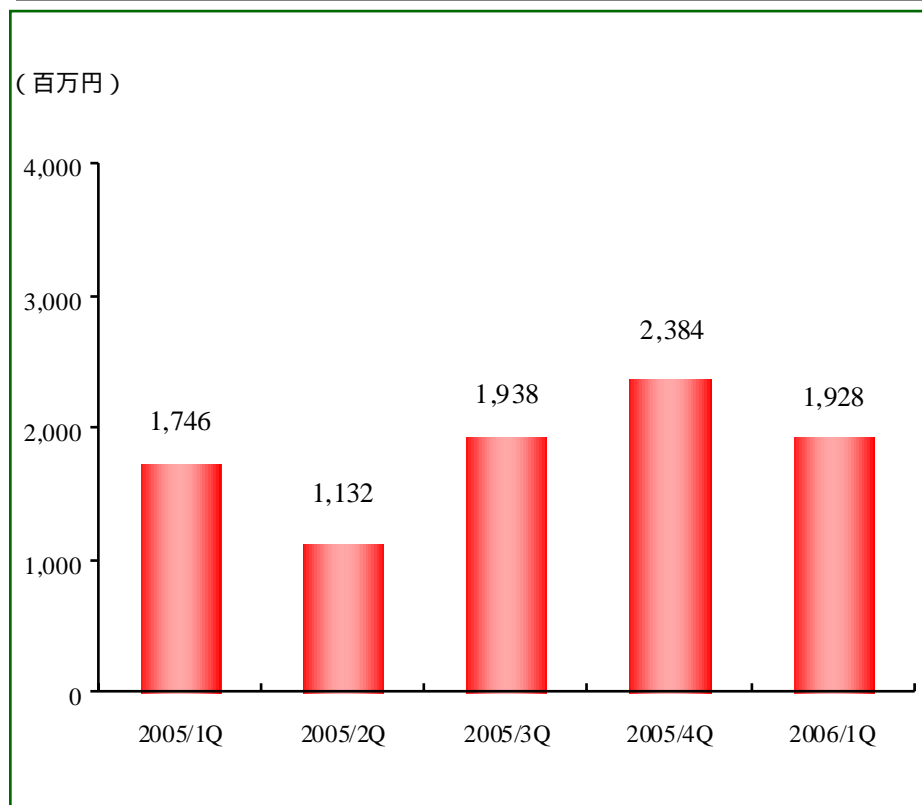


\* 2005/4QはNTT関連費用、接続料金の見直しによる遡及精算（一時的な利益計上）の影響約10億円を含む。

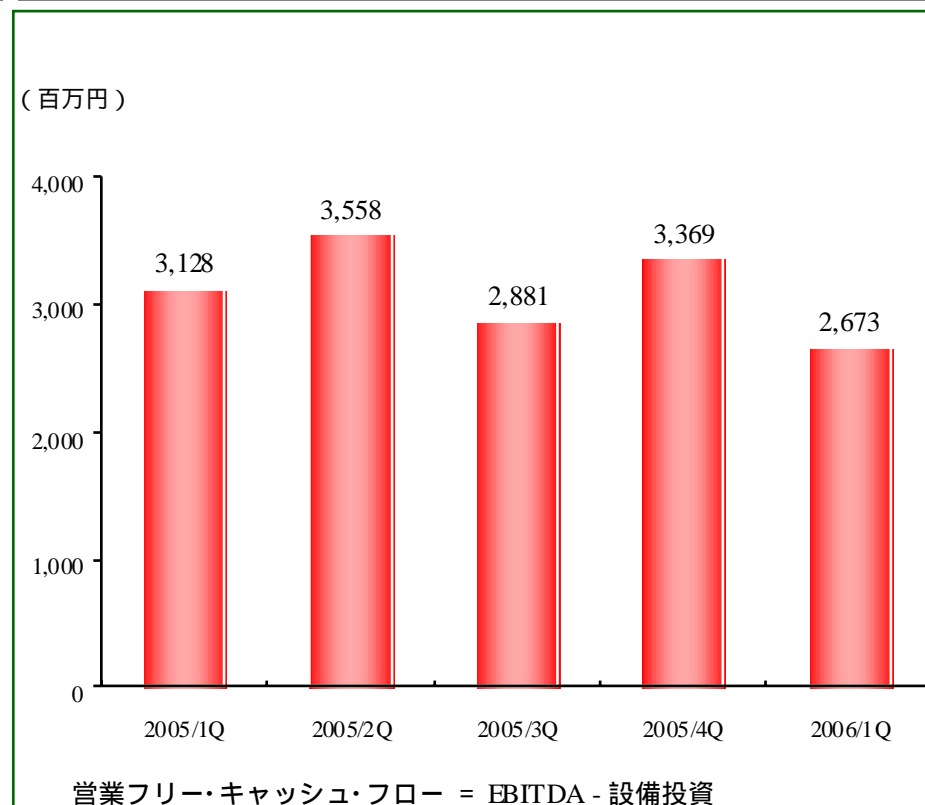
# 設備投資と営業フリー・キャッシュ・フローの推移

1QはADSL・ISP事業の設備投資が中心  
モバイル事業立ち上げに伴う設備投資は下期に集中予定

設備投資額の推移（連結）



営業フリー・キャッシュ・フローの推移（連結）



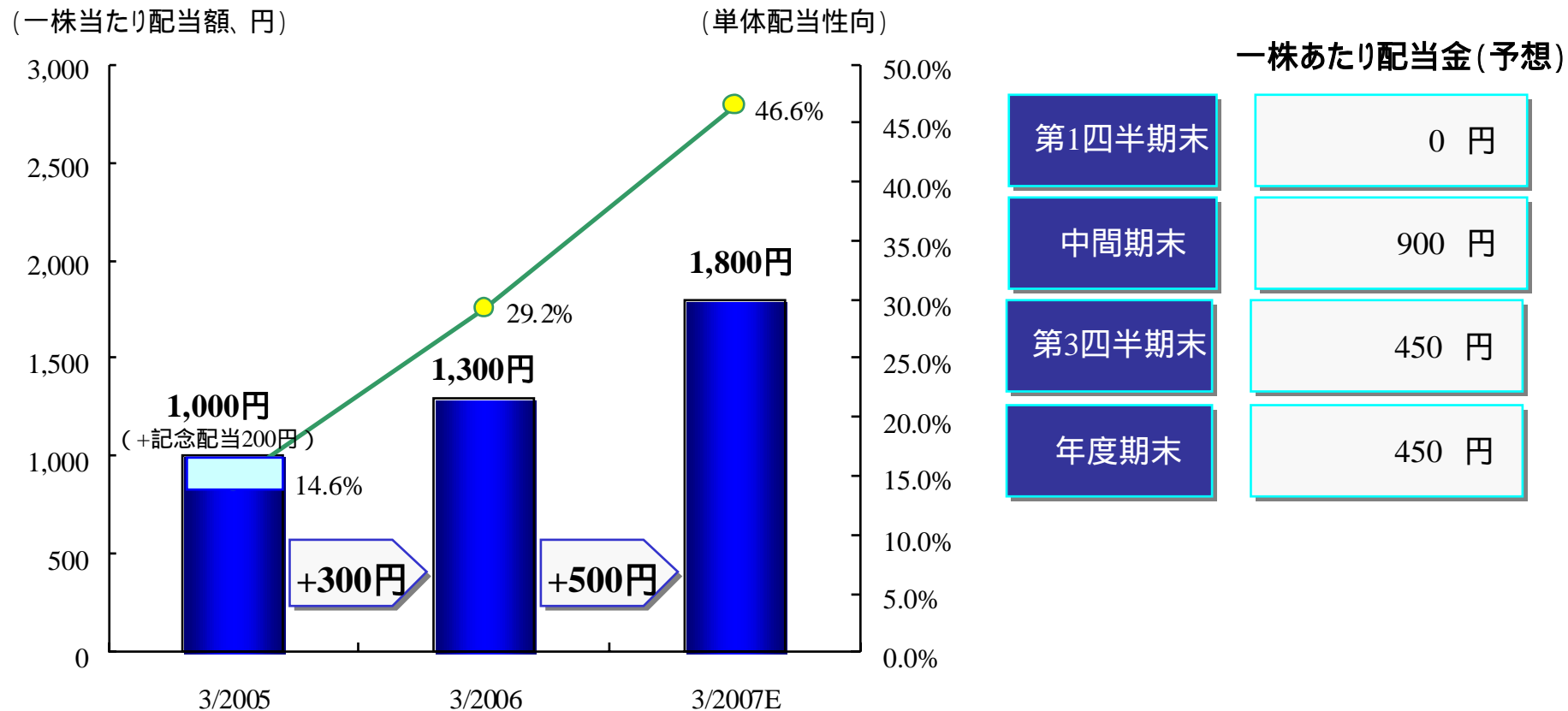
# バランスシート of 状況

ADSLサービスの拡充及びモバイル事業参入に向けバランスシートを強化  
 連結現預金残高は1,871億円に増加、連結のネットキャッシュは939億円

(単位：億円)	<連結> 2006年6月末		<単体> 2006年6月末	
	期末残高	総資産に対する比率	期末残高	総資産に対する比率
現預金残高	1,870.7	84.9 %	533.3	39.1 %
有利子負債	931.3	42.3 %	931.3	68.3 %
純有利子負債	939.4	--	398.1	29.2 %
少数株主持分(イ・EPA Ⅱ)	849.4	38.6 %	--	--
自己資本合計	336.9	15.3 %	352.0	25.8 %
総資産	2,202.4	100.0 %	1,363.9	100.0 %
純有利子負債/自己資本比率	278.8%	--	113.1 %	--

# 株主還元策

中間期末より四半期配当を実施。中間期末の配当は一株あたり900円



配当利回り 1.32%<sup>\*1</sup>      1.43%<sup>\*1</sup>      2.52%<sup>\*2</sup>

\*1 各年度末の株価をベースに算出。

\*2 2006年8月8日株価 71,400円をベースに計算。

業界最高水準の  
配当利回り

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。ここに示した意見は、本資料作成日現在の当社の意見を示すのみです。当社は、本資料中の情報を合理的な範囲で更新するようにしていますが、法令上の理由などにより、これをできない場合があります。